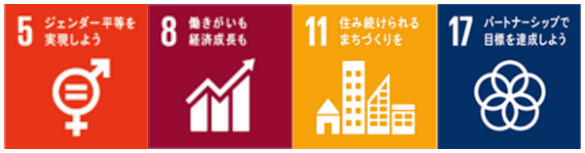
今、私たちにできること

ＳＤＧｓの取り組み

持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みは2019年８月より社内でスタートしました。
持続可能な世界を実現するための17の目標達成に向かい「地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）」を目指します。当組合も世界中の人々が幸せに豊かに暮らす社会の実現を目指し、SDGsの目標達成に向けて貢献してまいります。



ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて



働く個々人がやりがいをもって働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭生活においても介護や育児などの時間や自己啓発のための勉強の時間を持ち、豊かな社会生活を送ることが可能な労働環境を目指します。当組合における社内活動の一つ「**元気な職場造りプロジェクト**」は、社員一人ひとりの心の声を言葉に表し共有する活動です。こういったコミュニケーションを重視した活動は良質な職場環境を造り、仲間の心の豊かさに気づくきっかけとなります。また、あらゆる分野において女性がその個性を十分に発揮することは地域社会を活性化させる大きな力となると考えられることから、女性管理者の登用・育成及び職場における女性活躍や男女共同参画に積極的に取り組み、男女がともに働きやすい職場環境の整備を図るなどの取組を行っており、当組合は「**いわき市女性活躍推進企業**」として活動しています。

リサイクル教室の開催



一般市民を対象に、不要になった布、毛糸等を使用した「つまみ細工教室」「ニードルフェルト教室」のリサイクル教室を開催しています。伝統工芸とリサイクルを組み合わせて楽しく伝えることを目的としています。また、廃ガラスを利用した「人工シーグラス」を選別作業員の中から生まれたアイディアをもとに社内独自の製造方法で考案しました。2020年以降のリサイクル教室で情報発信しています。

多様な人材が個々の能力を最大限に発揮できる組合を目指して



組合は社員こそが企業の財産、すなわち「人財」であると考え、社員の成長を積極的にサポートするため、キャリアに応じて充実した教育研修を実施しています。社員の成長を第一に考え、体系的な教育研修を実施することで、「高度な知識・技能、責任感と気概を有し、かつ時代の変化に的確に対応できる柔軟性、創造性のある社員」の育成を目指しています。

専門者による講習会や研修会を通じた人材育成



各分野の専門家を外部講師として招き、毎年講習会を開催しています。社員全員に学ぶ機会が与えられ、業務意識の向上を図る取り組みです。また、自己のスキルアップに向けて、自主的に取得したい資格を申請することで、会社が費用を負担する制度「スキルアップアンケート」を毎年４月に実施しています。

いわき市不法投棄監視サポーターとして活動



後を絶たない廃棄物の不法投棄をなくすため、また、地域環境の保全と不法投棄の未然防止をさらに強化していくために、『いわき市不法投棄監視サポーター』に登録し、活動を展開しています。

「日本製紙ピンクリボン PPC」への協賛



ピンクリボン PPC は乳がん検診の啓発活動「ピンクリボン運動」を支援する PPC 用紙です。当組合はこの活動に協賛して PPC 用紙を全部門で採用しています。

健康事業所宣言



社員同士がコミュニケーションを密に図り、健康に配慮する文化を創造していくことによって組織の健康と生産性を維持しています。2019 年８月、全国健康保険協会の「健康事業所」として宣言し、社員は毎日の血圧、体温などの健康チェックを記録して管理しています。

食品ロス削減　フードバンクへの協力



社員休憩所に「フードボックス」を設置し、市内でフードバンク事業を展開する団体へ提供しています。また、いわき市が推奨する「食品ロス削減」の啓発として社内イベントの時などは 3010 運動の呼びかけをして 1 人ひとりの意識向上を目指しています。

これから、私たちにできること

高齢化社会へ向けた取り組み



高齢化に伴う家庭のごみ出し困難者への支援事業の展開を目指しています。ごみの分別が難しい、山間部世帯数が少ない地域のごみ集積所までの距離が遠くてごみ出しが困難、そういった高齢者を訪問してアドバイスをしながらコミュニケーションをとることで、安心して生活できるお手伝いをして行きたいと考えています。

＜いわき市再生資源協業組合と SDGs＞

SDGs(Sustainable Development Goals･持続可能な開発目標)は、あらゆる国と地域のあらゆる人を対象に、持続可能な世界を実現するための 17 のゴール･169 のターゲットから構成されています。
私たちはリサイクル事業活動とその啓発活動を通じて有限である資源を持続的に利用していくための循環型社会の構築へ貢献することを考えて行きます。
いわき市再生資源協業組合は、基本理念、行動指針を基本に SDGs の内容を踏まえ、下記の取り組みを推進します。





1. 具体的に次のことに取り組みます。

①電力･自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に取組みます。

②廃棄物の3R(減量、再使用、再生利用)の推進に取組みます。

③水資源の有効利用を図り、節水に努めます。

④原材料及び事務用品のグリーン購入を推進します。

⑤環境に配慮した事業活動を展開し、再資源化率の向上に努めます。

⑥地域の清掃活動を推進します。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

節電を心がけよう

照明の使用は最小限に、こまめな消灯を心掛けています。退勤時は消し忘れ防止のため、確認者は指差し呼称「戸締り、消灯ヨシ！」を徹底しています。また、組合事務所の照明をLEDに切り替え、点灯箇所も使う場所ごとに分けた事で無駄な電力の消費を抑え、節電へと繋がっています。



節水を心がけよう

水道を使用する際は勢いよく出さない事、流水のままにしないよう気をつけています。
「余分な水は使わない」事を徹底しています。
また組合事務所のトイレに「トイレ用擬音装置」を設置し節水に取り組んでいます。





公共施設を大切に

リサイクルプラザクリンピーの家は、市民が利用する公共施設です。毎年６月の「いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動」に合わせて、クリンピーの家の花壇に花を植え大切に育てています。



SDGsを可視化・情報共有

SDGsの17の目標から自分に出来る事を設定しロッカーにマークを貼り付けています。目に見える形で張り出したことで具体的な目標を持ってSDGsを強く意識しながら、日々の業務に取り組んでいます。
また２ヵ月に１回、社内報である「事務局だより」を発行しています。『Let's　SDGs』と題して従業員にもっとSDGsについての理解を深めてもらうために17の目標を１つずつ丁寧に分かりやすく説明しています。



つまみ細工教室

家庭で不要になった古布類を使って「つまみ細工」を作成する教室を実施しました。
参加される方に楽しい時間を過ごしていただきたいと考え、準備から力を入れています。



ニードルフェルト教室

家庭で不要になった毛糸やセーターなどを使った「ニードルフェルト」教室を実施しました。
毛糸をブラシでほぐす体験を取り入れ、家庭でも簡単にリサイクルしながら手芸を楽しめる提案をする事が出来ました。



いわき市廃棄物減量推進審議会委員活動

いわき市は、本市の実情にあった一般廃棄物の減量や３Ｒの推進などに関する事項を審議するため「いわき市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」で定めるところにより、平成５年９月に設置しました。当職員１名が委員として委嘱され活動しています。今年度はクリンピーの家の見学を行いました。



クリンピーの家から産まれたオリジナルの人工シーグラス

市内の家庭から排出される「ビン類」は、施設に運びこまれ、色別に仕分けされます。しかし、小さな欠片になってしまったものは仕分けができず埋め立てるしかないのです。環境保全の観点から埋め立て減量を目指し、自分たちで加工して人工シーグラスを造りリサイクル教室で利用しています。



人工シーグラス教室

当組合で製造している「人工シーグラス」を使ってランプシェードを作成する教室を実施しました。綺麗な人工シーグラスが市民から回収され埋立てされてしまうはずだったびん類だと知り驚く方もいらっしゃいます。





自作展示物でリサイクル啓発

空きペットボトルを使った「ペットボトルツリー」は従業員全員で作成しました。
来所される市民の方がリサイクルなどに興味を持っていただくきっかけ作りに貢献しています。



いわき市女性活躍推進企業

当組合では女性管理者の登用・育成及び職場における女性活躍や男女共同参画に積極的に取り組み、男女がともに働きやすい職場環境の整備を図るなどの取組を行っています。

- 「働く女性のための応援セミナー」
- 「イクボス養成講座」
- 「キラっ人さん育成塾」

積極的に講演・講習会に参加しています。

精神・発達障害者しごとサポーター

厚生労働省主催の「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」へ参加しました。この講座では基本的な事や関わり方など学びます。
今年度は、サブリーダーを中心に４名が受講しました。「障害があってもなくても一人の同僚」という言葉を胸に精神・発達障害者しごとサポーターとして意識しながら働いています。

労働安全衛生活動の推進活動

毎月実施する社内安全パトロールは職場の状況を安全推進委員会の立場から客観的に確認することで、安全状況をより高いレベルにしていき、潜在的な危険リスクを把握する効果があります。毎年 10 月 27 日は社内安全の日として職場の安全衛生向上を推進するためのイベント「安全大会」を開催しています。ヒヤリハットの積極的な提出を推進しています。



不法投棄監視サポーター クリンピー応援隊

いわき市不法投棄監視サポーターとして登録し、若手職員を中心に市内の不法投棄防止啓発活動に参加しています。環境美化活動は毎月第一金曜日に実施しています。どちらも敷地内外と地区のゴミ集積場の掃除やゴミ拾い、除草作業など精力的に活動しています。
市民の皆さんとの大切な交流の場でもありますので、従業員全員が大切にしている時間です。



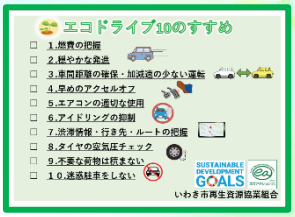
元気な職場作りプロジェクト

当組合では、「元気な職場プロジェクト」のミーティング、ポスター作成を毎月行っています。
震災後から行っており、従業員同士が声を掛け合い自分たちの言葉でポスターを作り「ここから元気を発信しよう」と提案されました。ポジティブな言葉を声に出し、意識することで職場の雰囲気も明るくなっています。



エコドライブ 10 のすすめ

エコドライブとは自動車から排出される二酸化炭素の量を極力抑える運転の仕方のことを言います。またエコドライブを実行して運転することで交通事故の予防に繋がるともいわれています。
当組合では、「エコドライブ 10 のすすめ」をイラストを使い分かりやすくまとめたものを車両に乗せ、意識しながら運転を行っています。



グリーン購入の推奨

当組合では、製品やサービスの購入をする時に必要かどうかをよく考えて、値段や品質、利便性、デザインだけでなく環境のことを考え、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先して購入しています。
文房具やトイレットペーパーなどはグリーン購入を推奨しています。



フードバンクへの食物提供

フードバンクとは、家庭で眠ってしまっている食品を生活困窮者や児童・障がい者施設などに無償で提供する活動やそれを行う団体のことをいいます。
当組合では回収ボックスを休憩室に設置し、従業員から食品を集め二か月に一度の頻度で、
「いわき市社会福祉協議会」へ提供しています。



ピンクリボンのコピー用紙購入

当組合では、コピー用紙は「ピンクリボン運動」の啓発を支援する目的で販売しているものを使用しています。
「ピンクリボン運動」とは、乳がんの正しい知識や乳がん早期検診の促進などを目的として行われている世界規模の啓発キャンペーンです。



メンティ懇談会

当組合では新入社員に対して、メンター制度を導入しています。２か月に１度、メンティが集まり情報交換や交流を深め、気持ちをひとつにするために懇談会を行っています。
部署が違い、会って話す機会が少ないため、この貴重な時間をひとりひとりが大切にしています。



キラっ人★ふくしまへ掲載

～キラっ人さん紹介＆キラっ人さん応援企業紹介～

『キラっ人さん』とはやりがいや充実感をもって働いていたり、家庭や地域でも「自分らしさ」を活かしている人の事をいいます。
福島県が運営しているサイトである「キラっ人★ふくしま」の取材を受け、当組合の『キラっ人さん』が掲載中です。
また、キラっ人さんを応援する企業としても掲載されており、「明るく元気な女性が支えるリサイクルでSDGs実現へ」と題し、当組合の女性活躍の現状や元気な職場造りプロジェクトなどをメインに掲載されています。

いわき市へ寄附金採納

毎年、「いわき市再生資源協業組合」と「青年部」から寄付金をいわき市へ採納しています。
青年部はリサイクルフェアで飲み物を販売し、その売上金を全額寄附しています。寄附金の使途としては「いわき市社会福祉復興基金」とし、平成８年から継続して寄附を行っています。



いわき市就活応援サイト　～みつけてGOOD JOB!～

いわき市が運営しているサイト「就活応援サイト」新規高卒者向けの企業 PR 動画や求人情報を掲載した「みつけてGOOD JOB!」。
現在公開中であるこの動画はいわき市の公式動画「iTube」に投稿されており、いわき市内に住んでいる方だけでなく沢山の方に見ていただいています。



スポGOMIへの参加

「ゴミ拾いはスポーツだ！」を合言葉に、チーム対抗の競技としてごみ拾いを楽しむ、スポGOMI。
ごみ拾いという社会問題解決のための行動に「スポーツ」というエッセンスを加えることで、楽しさやわくわく感、いい成績を収める喜びや、負ける悔しさなどを感じつつ、ごみを通じて環境問題に対する「気づき」を得るきっかけを作る活動でもあります。

私たちもスポGOMIに参加したことで環境問題に関する沢山の気づきに出会う事ができました。
この気づきを生かせるよう今後も積極的に参加していきたいと思います。







家庭教育応援企業認定

家庭教育応援企業とは、家庭教育の充実に向けた職場づくりと地域の家庭教育を推進する企業の事を言います。
当組合も家庭教育応援企業へ認定されており、職場への見学や「スポGOMI」への家族の参加呼びかけなど積極的に行っています。


福島県
家庭教育応援企業認証書

いわき市再生資源協業組合 様

貴企業を家庭教育の充実に向けた職場環境づくりと地域の家庭教育を推進する家庭教育応援企業であることを認めます

福島県教育委員会

健康事業所宣言

健康事業所宣言とは、従業員の予防・健康づくりに取り組む事を事業所自らが宣言するものです。
当組合も宣言しており、定期健康診断の実施と結果を社内で共有し、ふくしま県民アプリを社員全員が利用しています。
毎朝の血圧測定、体温健康チェックをアプリに入力して自己管理を推進しています。また、月初めに社内コミュニティツールのLINEWORKSで健康アンケートを集約しています。


宣言書

社員の皆様が心身ともに元気に働ける会社を目指して、健康づくりメニューへの取組みを宣言いたします

いわき市再生資源協業組合

代表理事　花見　俊行

上記の事業所が、「健康事業所宣言」をしたことを証明します